

音楽、テレビ、映画制作の再開手順：付録 J

2020年6月12日金曜日より有効

最近の更新:

8/18/20：雇用された観客は、少なくとも6フィート離れて着席し、フェイスカバーを着用する必要があります。観客は屋外に座ることが望ましい。クラフトサービスの食事は屋外で行う必要があります。特定の作品に関連する作業の一部ではないリハーサルは許可されていません（変更は黄色で強調表示）。

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、音楽、テレビ、及び映画制作を再開するにあたり、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。以下の要件は、2020年6月11日の衛生担当官命令により再開が許可されている音楽、テレビ、映画業界に特化したものです。

州知事が音楽、テレビ、映画制作に課す条件、及び労使間の合意に加え、これらの種類のビジネスは、音楽、テレビ、及び映画制作産業のチェックリストに記載されている条件にも準拠する必要があります。

音楽、テレビ、映画制作の運営に関連する以下の追加の手順にも従う必要があります。

- レストランとバー
- 小売施設
- オフィス
- 倉庫と製造
- 建設

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないかご確認ください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための対策
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員及び市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本指導書の対象となるすべての事業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されていない理由を説明する必要があります。

事業名:

施設住所:

投稿日:

A. 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 職場のCOVID-19コンプライアンス担当者（C19CO）または担当者が指定されている。C19COは、COVID-19安全手順の確立と実施、手順に関するスタッフのトレーニング、及びコンプライアンスの監視を担当する。可能であれば、感染管理の経験を持つ専門家に相談して、新しい音楽、テレビ、映画制作向けの感染管理手順を作成及び確認し、既存の手順については改訂を行う。C19COは通常、専門家に相談する。C19COは、作業中に作成されたすべての記録のプライバシーを管理及び保護する。C19COは、制作作業が行われる際、特に現場またはロケーションで撮影を行う場合に、可能な限り現場に立ち会う。C19COは以下のサポートを行う。
 - 職場到着時の従業員、ベンダー、訪問者の健康診断プロセス。記録は常に非公開とし安全に管理する。
 - COVID-19関連の手順を改善するための苦情と提案の管理。
 - 物理的距離、感染管理、及び消毒を保証するためのすべての作業に関する手順とワークフローの評価。
 - COVID-19の症状と一致する兆候のある従業員、及び/またはCOVID-19の検査で陽性となった従業員のための手順。
- 職場は、フェイスマスク、手指消毒剤、消毒剤、及び（必要に応じて）手袋、移動式手洗いステーション、及びその他の機器と備品を含む、仕事に必要なすべての個人用保護具（PPE）と感染防止用品を提供している。
- すべての従業員と訪問者は、制作現場でフェイスマスクの着用が許可されていない場合を除き、他の人と接触するときは常に布製フェイスマスクを着用する。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべての従業員は、COVID-19と一致する症状がある場合、COVID-19検査で陽性と判定された場合、またはCOVID-19感染者に曝露した場合、出勤しないように指示されている。従業員は、自己隔離と検査に関する公衆衛生局の指導書に従わなければならないことを理解している。
- 従業員の自宅待機を財政的に容易にする受け取り可能な雇用主または政府支援の休暇給付に関する情報が提供されている。病気休暇及びCOVID-19に関わる労災補償を支援する政府の[プログラム](#)に関する追加情報をご参照ください。これには[家族第一コロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気 休暇の権利、及び[州知事令N-62-20](#)に準拠する3月19日から7月5日までの間に発生したCOVID-19曝露への労災補償給付に対する従業員の権利、COVID-19の労働に関わる推定に関する情報が含まれます。
- 従業員の在宅勤務の機会を増やすために、作業プロセスは可能な限り再構成されている。
- テレビや映画の制作では、COVID-19の蔓延のリスクを軽減するために、その制作に携わるキャストとクルーに対して定期的に検査を行う。特に、長時間フェイスマスクを着用せずに濃厚接触する必要があるリスクの高いシーンに参与しているキャストやクルーの検査を行う。非常に短い撮影スケジュール（多くのコマーシャルなど）または小規模な音楽録音セッションを運営する単発の制作で検査が実行できない場合は、キャスト、クルー、演者間の濃厚な物理的接触を可能な限り排除するようにすべての作業を計画する。すべての検査プログラムは雇用主の責任であり、医療専門家の指導を受ける。
- 1名以上の従業員が検査で陽性判定であった、またはCOVID-19（症例）の症状と一致する症状があると知らされた場合、雇用主はロサンゼルス郡が要求する指導書に従って、以下を含む対応計画を

立てる。

- 病気の従業員を直ちに帰宅させる。呼吸困難、胸部の圧迫や痛み、唇の血色が悪い、または混乱しているなど重篤な病気の症状がある場合は、911に電話する。この従業員は自分の症状について医師に相談し、COVID-19検査の必要性を判断する。
 - 従業員は、解熱剤を使用せずに発熱が解消してから少なくとも24時間経過し、症状が始まってから最低10日間症状が改善するまでは、職場に復帰することはできない。
 - 自覚症状がなくとも、SARS-CoV-2ウイルス検査で陽性であった従業員は、検査用検体が採取された日から10日が経過するまでは職場に復帰することはできない。
 - 可能であれば、在宅勤務できるようテレワークまたは他の方法などの代替作業オプションを検討する。
 - 病気の従業員または感染した従業員が触れたすべての場所の洗浄と消毒を行う。
 - 病気の従業員と濃厚接触したキャスト、クルー、またはその他の人を特定する。濃厚接触者の定義と取るべき行動については、検疫に関するガイド (<http://ph.lacounty.gov/covidquarantine>) を参照する。病気の従業員の名前を開示してはならず、医療のプライバシーを維持する。
- 雇用主の計画は、追加のCOVID-19管理対策が必要となりえる職場での新たな曝露があったかを判断するため、検疫中の全従業員がCOVID-19検査へのアクセスや、検査を受ける手順を検討する必要がある。PCR検査（鼻/喉/唾液の検体の遺伝物質の検査）で陰性であった場合は、検査の時点で検体内にウイルスがなかったことを示すだけであることを注意してください。検査結果が陰性であっても、14日間の検疫を完了する必要があります。
- プロデューサー、ディレクター、ショーランナー、オーナー、マネージャー、または運営者が14日間以内に職場内で3件以上の症例が確認した場合、雇用主はこの発生を公衆衛生局、(888) 397-3993 または(213) 240-7821 に報告する。職場でグループが特定された場合、公衆衛生局は、感染対策の指示と推奨事項、技術的支援、及び職場固有の対策の提供を含むグループへの対応を開始する。公衆衛生局のケースマネージャーがグループの調査の担当に割り当てられ、施設の対応への指示をサポートする。
- 従業員が職場に入る前に**症状の確認**を行っている。症状の確認には咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、その他の症状の有無、及び従業員が過去14日間にCOVID-19への感染が判明している人との接触があったかどうかを含む必要がある。これらの確認は遠隔か、従業員の出勤時に直接行うことができる。可能であれば職場での検温も行う。
- 勤務中に他者と接触する従業員（スタッフ、キャスト、クルー、ベンダー、顧客を含む）に鼻と口を覆う布製フェイスカバーを無料で提供している。就業中他者と接触する、またはその可能性がある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療従事者からフェイスカバーを着用しないように指示されている従業員は、状態が許す場合に限り、州命令に準拠した下端にドレープが付いたフェイスシールドを着用する。ドレープはあごの下にフィットするものが好ましい。一方向弁付きのマスクは使用しない。個人オフィスや立った時の高さよりも高い仕切りで仕切られた作業所に一人で勤務する従業員は布製フェイスカバーを着用する必要はない。
- 従業員には、フェイスカバーを毎日洗濯、または交換するよう指示している。
- すべてのワークステーションは、少なくとも6フィートの間隔が確保されている。
- 休憩室、トイレ、その他の共用所は、以下のスケジュールに従って頻繁に消毒している。
 - 配布エリア

- メイク/ヘアールームと衣装室 _____
 - 楽屋またはトレーラー _____
 - 休憩室 _____
 - トイレ _____
 - その他 _____
- 休憩室やエキストラのメンバーの待合室などの他の共有エリアで、常に従業員間の6フィートを維持できるように休憩時間をずらす。
- 従業員はマスクを常に正しく着用するために、指定された場所以外で飲食することが禁じられている。キャストとクルーは、スケジュールをずらして指定されたセットエリアで飲食する。
- 従業員が利用できる消毒剤及び関連用品は以下の場所に常備している：
- _____
- 従業員が利用できるCOVID-19に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している：
- _____
- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可されている。
- 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- 各従業員には、可能な限り各自の用具、機器、及び特定の作業所を割り当てている。保持品の共有は最低限に排除している。
- すべての共有機器、マイク、及び用具は、使用するたびに消毒する。
- すべての共有する衣類は、使用するたびに洗濯する。
- すべてのかつら、または他の共有の補綴物は、使用するたびに消毒する。
- 本チェックリストに記載されているすべての方針は、雇用条件に関するものを除き、第三者として敷地内にいる可能性がある配達スタッフ 及びその他の会社に適用されている。
- COVID-19に関するトレーニングは、ウイルスに関する情報や必要なすべての安全対策を含め、すべての従業員に提供され、文書化されている。
- 屋内で雇われた観客を用いて撮影を行う場合、各聴衆は互いに少なくとも6フィートの物理的距離を確保し、常にフェイスカバーを着用して着席する。可能な限り、観客は屋内ではなく屋外に座らせることが望ましい。
- 聴衆として雇用された者は、他のすべての従業員の要件を順守する必要がある。
- 制作に関わった人がCOVID-19の症状を発症したり、検査で陽性になった場合に備えて、すべての制作段階の日付、時刻、参加者を後で参照できるように記録する。
- オプション - その他の対策の説明：
- _____

B. 物理的距離を確保するための対策

- すべての新規または再開する制作及びグループレコーディングセッションでは、制作現場全体で6フ

- 6フィート以上の物理的距離を確保するために、作業を開始する前にプロトコルを作成する。
- いつでも、必須なキャストとクルーだけがセットの上または付近にいるようにする。
 - 制作または編集会議は、必須なスタッフのみに限定し、物理的距離を維持できる場所で開催する。
 - 計画には、制作参加者を実行可能な最小サイズのチームに分割することが含まれている。各チームは異なる時間にセットまたはスタジオに入り、チーム同士が重ならないようにしたり混在する時間を最小限に留める。
 - フェイスカバーを着用できない作業を行うすべてのキャスト及びミュージシャン（俳優、音楽器奏者、歌手など）は、リハーサルまたは演奏中に最低8フィートの社会的距離を保つように努める。或いは、これらの人は、プレキシガラスまたは他の仕切りを用いて他者から、及び互いに分離する。
- 可能であれば、すべての作業所に於いて、出入口の付近での接触や混雑を防ぐために、一方通行（別々の入口と出口）とする。
 - エレベーターの定員は、利用者間の物理的距離を6フィートを確保しつつ収容可能な人数に制限する。建物の出入りの混雑時に、利用者間の物理的距離を6フィートに維持できないエレベーターの場合、一度に利用できる人数を4人以下に調整する。すべての利用者は布製フェイスカバーを着用する。エレベーターのサイズ、建物の階数、及び1日の従業員と訪問者の数を考慮して、エレベーターの利用者に適した物理的距離の規定を設定する。
 - エレベーターの往來を軽減するために、階段の清掃回数を増やして、「上がる」または「下がる」の通行のために階段を開放する。
 - ロビーや従業員の休憩室、楽屋、トレーラー、その他の共有所の家具は、物理的距離を維持するために少なくとも6フィート離す。
 - ロット内のすべての店舗（小道具、衣装、デザイン、電気機器など）と製作場所での、列や集団の形成を防ぐために、予約制でお客様と作業を行う。ショッピングは可能な限りバーチャル方式で行うか、一度に1人の買い物客に制限する。印刷されたカタログは、1回のみ使用とし、1人の客が利用したら再利用しない。客が品物を待つ必要がある場合、可能な限り外で待つ。
 - すべてのスタッフ、キャスト、クルー、ミュージシャン、ベンダー、顧客、及びその他の訪問者は、より緊密な作業が必要とされる特定の作業を行う場合を除いて、常に互いに少なくとも6フィートの距離を確保するように指示されている。
 - **特定の制作に関連する作業の一部ではないリハーサルは許可されていない。**
 - オフィス、映像及び音声編集所では、従業員のワークステーションは少なくとも6フィート離れており、共有エリアは、従業員の集まりを制限して、少なくとも6フィートの物理的距離を確保するように構成している。各オフィス、会議室、フロアの最大収容人数を設定して掲示する。

C. 一般的な感染予防対策

- すべての建物内のHVAC システムは正常に機能し、可能な限り最大限にオフィス、録音場所、会議室、ステージ、楽屋とトレーラー、及び敷地内の店舗を含むすべての場所で換気を良くしている。HVACシステムのステータスは、ロケーションの偵察の際に評価する。
 - ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物のエアフィルターを可能な限り最高の効率の物にアップグレード、及び外気の量を増やし、作業場所の換気を増やすためにその他の変更を加える

ことを検討する。

- 通常共有されるすべての契約書、台本、楽譜、及びその他の書類は、デジタルで配布されるか、共有を避けるために印刷して、キャスト、クルー、ミュージシャンに個々に配布する。
- 撮影またはレコーディングセッション、グループ編集、またはその他の会議の前後に、頻繁に触れる物（テーブル、ドアノブまたは手すり、プリンター、小道具、共有機器など）は、EPA承認の消毒剤を使用して消毒する。このような表面は、少なくとも1日に3回は清掃する。
- 撮影用セット、制作所、及び施設全体は、少なくとも毎日清掃し、トイレや頻繁に触れる場所/物体はより頻繁に清掃する。
- すべての訪問者は、閉鎖されたオフィスに一人でいる場合を除いて、施設内では常に鼻と口を覆う布製フェイスカバーを着用するように指示されている。これは、すべての大人と2歳以上の子供に適用される。医療提供者からフェイスカバーを着用しないように指示された個人のみがフェイスカバーの着用を免除される。従業員と他の顧客の安全をサポートするために、フェイスカバーを持参していない顧客が利用できるものを用意する。未成年の子供であるキャストには、親、保護者、教育者など、最大2人の大人が同伴する場合がある。子供は親または保護者のもとを離れず、他の人や自分のものではないアイテムに触れないようにし、年齢が許せば、セットにいないときはマスクを着用したままにする。
- 来場者が施設に入る際に、従業員の症状確認と同様の症状確認を行う。症状の確認には咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒の有無、及び過去14日間にCOVID-19 感染者に接触したかどうかが含まれる。これらの確認は、直接行うか、オンラインチェックインシステム、またはこれらの症状のある来場者は施設内に入場してはならないことを通告する看板を施設の入口に掲示するなどの方法で行う。
- 手指消毒剤、ティッシュ、ゴミ箱は、施設の入り口またはその付近、オフィスやレコーディングスタジオ全体、ロケ現場のセット付近にいるすべてのキャスト、クルー、ミュージシャン、スタッフが利用できるようにしている。ゴミ箱は非接触型の物が好ましい。
- すべての支払いポータル、ペン、及びスタイラスは、別の人が使用することに消毒する。
- より簡単に消毒できる小道具、衣装、セット素材が好ましい。
- すべてのキャストとクルーは、小道具、衣装、またはセットの素材に触れる前に、フェイスカバーを着用し、手を洗いか手指消毒を行う。撮影中、キャストはフェイスカバーを着用せずにこれらのアイテムを使用できる。
- すべての小道具、衣装、セットの素材は、セットで最初に使用する前、及び異なる俳優による使用の合間に消毒する。
- 可能であれば、キャストは共有を避けるために自分の小道具（携帯電話など）と衣装を持参する。
- すべてのトラック及びその他の車両は、使用することに消毒する。

D. スタッフ、キャスト、クルー、訪問者、ベンダー、及び顧客とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーは、施設またはオンロケーションセットに入場するすべての人（すべての役割の人）に渡されている。
- 標識を施設全体に掲示する、または以下の情報を通知するように設定されている。
 - COVID-19症状のある体調の悪い人、またはウイルス検査で陽性となった人は入場が許可されない。
 - COVID-19感染の可能性がある、または感染が確認された人に曝露したために検疫を行っている

る最中の人は、入場が許可されない。

- フェイシャルカバーの要件
- 特定の会議室、休憩室、飲食エリア、レコーディングルーム、撮影用セット、及び車両の制限収容人数（これらの場所の入口またはそのすぐ外に掲示）。
- 症状確認、体温確認の手順。（入場エリアに掲示）
- 現場のCOVID-19コンプライアンス担当者（C19CO）の連絡先。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 移動が制限されている、及び/または公共所にいることで病気にかかるリスクが高いキャスト、クルー、ミュージシャンへのアクセスを確保するための対策を講じている。

F. 音楽制作

本手順の他のすべての関連セクションに準拠することに加えて、音楽制作活動は以下のリストにも準拠する。

- すべてのセッションは、物理的距離を確保できるように、予約時に記録された参加者の予想数を利用して事前に予約する。訪問者名簿は、全参加者の名前と連絡先とともに保管する。
- 特定の時間にスタジオに入る個人（タレントとクルーを含む）は、必須な要員のみで制限する。これには、アーティスト、ソングライター、写真家/ビデオグラファーが含まれ、それらに同行できる人は、必須の担当者のみで厳密に制限する。
- 楽譜やその他の紙の資料は、手袋を着用して配布する。理想的には、それらは1回のみ使用とし、セッション終了後に回収しない。
- 可能な限り、スタジオを利用するすべての人が各自の機器（カメラ、ヘッドセット、マイク、コンソールなど）、机、電話、消耗品などを使用する。機器を共有する必要がある場合は、使用ごとに消毒する。
- 適切な社会的距離を示すために、距離の目印を提供する。マイク、コンソール、及びその他の機器は、社会的距離を容易にできるように設定する。
- スタジオに入る人は、特にラウンジ、キッチン、トイレなどの公共の場所で他の人の近くにいるときは常時鼻と口を覆う布製フェイスカバーを着用する。
- フェイスカバーを着用できない作業を行うすべてのミュージシャンと歌手（管楽器奏者、歌手など）は、リハーサルまたは演奏中に最低8フィートの社会的距離を保つように努める。或いは、これらの人は、プレキシガラスまたは他の仕切りを用いて他者から、及び互いに分離する。
- タレントは、必要に応じてあらかじめ髪と化粧を整えて現場に到着する。
- 理想的には、契約社員が納税申告書やその他のまとめて交渉された書類（料金）をデジタルまたは郵送で受け取れるようにする。
- スタジオの方針と書面による通知に関する確認フォームのコピーは、入り口の近くに掲示する。
 - 可能であれば、スタジオでの物理的な接触を最小限に抑えるために、電子署名できるよう書類を契約社員と訪問者に事前に電子的に送信する。
- 出来る限り、すべての金銭取引は、非接触型システムを用いて、セッションの前または後に行う。

リモートで提供できるトランザクションまたはサービスは、オンラインに移行する。

G. オーディション

- オーディションは、可能な限りビデオ会議などのツールを使用してリモートで実行する。
- 対面式オーディションを開催する場合は、以下が要求される。
 - 混雑を防ぐために、予約制にする。オープンコールは許可されていない。
 - セッションの参加者全員は、布製のフェイスマスクを着用する。オーディションを受ける人は、必要に応じて、オーディションのためにフェイスマスクを取り外すことができる。
 - 各参加者には一回使用の印刷された台本を渡す。台本は共有しない。
 - オーディションを受ける各人は屋外で待機し、他者から離れて順番を待つ。
 - 複数人数のオーディションでは、互いの距離を少なくとも6フィート確保する。

H. 撮影シーンの制限

- すべてのキャストは、シーンの撮影を開始する際に手を洗うか手指消毒を行い、撮影中に顔に触れないようにする。セットに触れるまたはキャストとやり取りをするすべてのクルーは、撮影の開始時に手を洗うか手指消毒を行い、フェイスマスクを着用する。
- 撮影シーンを含め、キャストまたはクルーが6フィート以内にいる必要がある作業は、できるだけ短時間にする。また、会話による飛沫が拡散するのを防ぐために、キャストはできるだけ話をしない。キャスト同士が直接長時間物理的に接触するシーン（親密なシーン、戦うシーン）は、現時点では推奨されていない。
- 大人数の群衆のシーンは避ける
- すべてのオンロケーション撮影は、できる限り午前7時から午後10時までの営業時間に従う。

I. クラフトサービスとケータリング

- すべての俳優とクルーは、食品を取り扱う前に手を洗うか手指消毒を行う。
- ビュッフェは許可されていない。
- 共同の飲食サービスは提供しない（コーヒーポット、一人用コーヒーメーカーは使用しない）。
- すべての飲食物は1人前で提供されなければならない。
- クラフトサービスの食事は屋外で実施する。**
- 着席式の食事：交代制で食事をする、または6フィート以上の物理的距離を確保するのに十分な広さの座席エリアを備える。
- フードサービスに関連するすべての追加の公衆衛生局の要件に従う。
- 個人が持ち込んだ食品にはラベルを付け、共有しない。
- マスクが常時正しく着用されるために、飲食は指定された場所でのみ行う。

- ❑ ウォーターディスペンサーから水を供給する場合は、使用の毎にディスペンサーのレバーまたはボタンを清掃する。

J. 衣装、ヘア&メイク

- ❑ これらのサービスの実質的なサポートは、これを必要とし、自分でそれを行うことができないキャストにのみ限定する。
- ❑ 俳優とクルーは、スタイリングや衣装合わせの前に手を洗うか手指消毒を行い、セッション中は可能な限り布製のフェイスマスクを着用する。化粧をしている間、布製フェイスマスクを着用することはできないので、俳優は会話による飛沫の拡散を避けるため、できるだけ話をしない。
- ❑ キャストメンバーまたはワードローブ/ヘア担当者のいずれかがCOVID-19で病気になった場合に備えて、セッションの日付、時刻、及び担当者を後で参照できるように記録する。

K. ロケーション現場の偵察と撮影

- ❑ ロケ現場の偵察はバーチャル方式で行うか、可能な場合は既存の現場の写真を用いる。
- ❑ 一般市民によるアクセスを防ぐために、ロケの撮影場所は完全に安全でなければならない。撮影場所は、離れた場所、フェンスで囲まれた場所、またはその他の方法で一般市民が入れないように十分に保護されている必要がある。
- ❑ ロケ現場は、すべてのキャストとクルーの待機場所と共有エリア、ビデオビレッジ、クラフトサービス/ダイニング、及びその他すべての作業エリアにおいて物理的距離を確保することのできる十分なスペースがある。
- ❑ ロケ現場のレンタルまたはアクセス時間は、現場への安全な入場に必要追加時間、及び手指衛生と繰り返し行う表面の消毒のための追加時間を考慮に入れている。
- ❑ 屋外または広いオープン屋内スペースは、物理的距離及び/または換気を実現するために要するスペースが大きい場合本質的に安全です。適切な換気のできない屋内の小さな開放されていないスペースは使用しない。
- ❑ ワークフローとCOVID-19安全手順は、撮影が行われる前に作成し、現場のすべてのキャストとクルーと共有する。
- ❑ キャストやクルーが病気を発症したり、ウイルス検査が陽性になった場合に接触者の追跡を実行する必要がある場合に備えて、撮影に参加しているすべてのキャストとクルーのリストを保管する。
- ❑ キャストとクルーの待機場所、共有所、ビデオビレッジ、クラフトサービス/ダイニング、その他すべての作業所を含む撮影されない全ての場所では、人と人との間に少なくとも6フィートの物理的距離を確保する。距離を取ることができるよう、追加の所、機器（ビデオのモニターなど）を提供する。
- ❑ 必須キャストとクルーのみがセット上またはセット付近にいるようにし、その際も物理的距離を維持する。
- ❑ 撮影場所間の移動が必要な場合は、可能な限り大容量の車両を使用して、車内で6フィートの物理的距離を確保できるようにする。乗客定員人数を設定し、車両の側面に掲示する。必要に応じて、1回あたりの乗客数を減らして、運航回数を多くする。すべての乗客（キャストを含む）と運転手にフ

フェイスカバーの着用を義務付け、可能であれば、乗車中は窓を開けたままにする。

- すべてのオフカメラスタッフは、勤務日はフェイスカバーを着用する。
- すべてのキャストとクルーは、休憩時間を含め、制作中はロケ現場に留まる。
- すべてのロケーション撮影は、可能な限り午前7時から午後10時までの営業時間に従う。

L. 撮影許可

- キャスト、クルー、ミュージシャンが接触することなく、作業、撮影または録音を完全に遠隔/バーチャル方式で行う制作方法が最も安全であり、可能であればこれを優先する。
- 制作は、本チェックリストの現場撮影及び撮影シーンの制限の他のすべての要件を満たす必要がある。

企業は 上記に含まれていない追加の対策について別のページに記載し、それを本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は、以下の者までご連絡ください。

会社の担当者名:

電話番号:

最終更新日:
